



発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

さてイザヤ書は、この御言葉に続けてこう預言する。「見よ、お前たちはそれぞれ、火をともし松明を掲げている。行け、自分の光に頼って、自分の燃やしたいまつによって。わたしの手がこのことをお前たちに定めた。お前たちは苦悩のうちに横たわるであろう。」(イザヤ50・11)

光のない時も、暗闇の中を行く時も、その道行を指し示してくださる真の光がある。燃やす松明に頼ろうとする。自分の力や知恵こそが最も確かなものと思うのだ。しかし預言者は、そんな人々に向かって大変厳しい言葉を持って臨む。国を失い、捕囚の民となったイスラエルに対し、また回復の時にもなお、その現実を受け入れぬ人々へと語られた。しかしこれらの言葉は、今を生きる私たちにも同じような響きをもって迫ってくるのではないだろうか。あなたは、本当の光を見つけているか。あなたが頼る松明は、自分で火をつけ燃やすものになってはいないか。

節を思い起こした。「あなたの御言葉は、わたしの道の光わたしの歩みを照らす灯」(詩119・105)。私はこの詩人の言葉がとても好きだ。私たちがアシュラム運動を一言で言い表すとすればこの言葉こそが最もふさわしいと私は思っている。本当の光、本当の灯、それは神の御言葉に他ならない。聖書の御言葉こそ、私たちの支えであり、道を照らす松明の灯なのだ。確かに、私たちはそのことを知ってはいる。そしてそれを唱えている。しかし、そのことを本当に信じ行っている者は少ない。

瞑想

闇の中を歩く時も、光のないときも、主の御名に信頼し、その神を支えとする。

イザヤ50・10

主幹牧師 榎本 恵

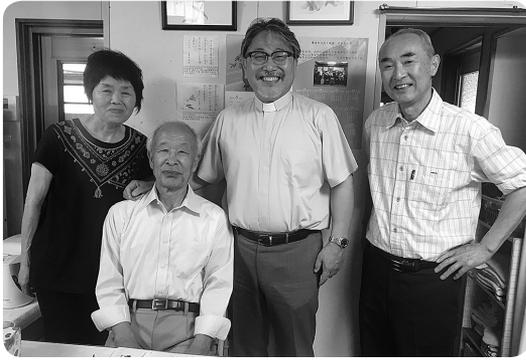
ただただ不安と恐れだけが自分を支配する。そんな時、私たちはいつも、この最も頼りとなるはずの御言葉の光や灯よりも、自分で掲げる灯や人間の知恵や力により頼もうとするのだ。目には見えない聖書の御言葉よりも、目に見える人やモノのほうが確かなもののように感じられるから。しかし、それはルターの間隙の妖魔に他ならない。「闇の中を歩く時も、光のないときも、主の御名に信頼し、その神を支えとする」(イザヤ50・10) こそ、「御言葉は、わたしの道の光 わたしの歩みを照らす灯」(詩119・105) を見いだすのだ。その暗闇の中でこそ、見出しうる光がある。苦難の中でこそ出会う真理がある。友よ、私たちはどんな時も、御言葉に聴いていこうよ。順境の時も、また逆境の時も。そこにしか真の光はないのだから。「言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いてる」(ヨハネ1・4-5)。主の御降誕を祝うクリスマスはもうそこまできている。

婦人よ…、 私の時はまだ来ていません。(Ⅱ)

脇 萬里子

第1回四国(一日)

アシュラム主題聖句「親切な言葉は蜜の滴り。魂に甘く、骨を癒す。」箴言16・24 静聴の箇所は箴言16章 遠くは石川県羽咋市から、また静岡、滋賀京都、近くは愛媛県の今治、西条、土居、香川県より(金田先生の長男健一ご夫妻も)、



アシュラムを始める一年前、祈りを合わせるため、引原兄と四国、金田ご夫妻宅へ。(撮影 脇姉)

そして会場の三島真光教会からと、主は総勢29名を招いてくださいました。初めての参加者が大勢おられアシュラムとの良い出会いがありました。抱えていた問題が解決したわけでもありません。けれども共に祈り合えるファミリリーが与えられました。

恵先生は充滿の時

「アシュラムは空になるのではない、無になるのではない、主の霊によって心を満たしていくのだと。

また、金田先生著『日々の糧365日主にお会いするまで』を引用して私たちの日々の歩みは「しなければ

ならない」信仰ではなく「キリストが何をしてくださるか」ということへの信頼にかかっている。

魂の養いを受け、それぞれの地へと散らされ、日々の祈りの時を大切に、主が招いてくださった教会に全力で仕える者とさせていただきます！「婦人よ：私の時はまだ来ていません」

主の最善の時を感謝して!! (おわり)

(日本キリスト教団 三島真光教会)



アシュラムに感謝!また来年!! (脇ご夫妻と和子母)

第1回四国(1日)アシュラムに参加して

日野美代子

今年の6月15日の集

会に初めて参加させていただきました。保郎先生の事は、三浦綾子さんの著書等で、近くの今治に使命のために自分の身体を厭わず伝道のために歩まれた、すばらしい牧師さんだなぁと深く感じさせ

られました。当時の保郎先生の身体を気遣い、アメリカまで行かれたという今治教会の高齢の姉妹の話を直接聞かせて頂き、又、心動かされました。神の使命のために生命を顧みず働かれたことを思うと自分の信仰のなさを深く反省させられました。

ファミリリー



に別れて共に祈りの課題を出してゆき、それぞれの皆様のために祈り合いました。人には表に出さない多くの思いを心に静めています。それぞれの悩み、苦しみの悲しみと向き合いながら

- ご献金者 敬称略
- 9月分
- 後夫 良雄
- 大満 幸朝
- 義理 真理
- 久美 久美
- 青年 アシュラム
- 和子 和子
- 英夫 英夫
- 邦子 邦子
- 道代 道代
- 品久 品久
- 千歳 千歳
- 孝子 孝子
- 昭子 昭子
- コッコ 久子
- 喜美子 喜美子
- 睦子 睦子
- 辰神 辰神
- ミニアシュラム
- 康子 康子
- 喜久子 喜久子
- 光太 光太
- 穂本 穂本
- ちひろ ちひろ
- は教師
- 記念チャペル
- 夕礼拝
- 塚部 二子
- 清子 清子
- 恵 恵
- 康子 康子
- 麗屋
- キリスト教会
- 白石伊都子
- 常任運営委員会
- 足立タズ子
- 静野 静野
- 明石シオン
- 大阪聖書教室
- 永田 京子
- チャイム
- コンソート
- (池田チャイムの会)
- カフェちひろば
- 聖書入門講座
- 大山 悠子
- 悦子 悦子
- 智恵 智恵
- 幸子 幸子
- 弘子 弘子
- 宜和 宜和
- 義人 義人
- 久雄 久雄
- 氏二 氏二
- 権子 権子
- 直子 直子
- 宮子 宮子
- 小林 宮子
- 聖書教室

生きています。一度では出すことの出来ない思いも、それを重ねることによって心が導かれ心の奥が開かれて行くのでしょうか。今までは新しい人、世界の平和、他のために祈っていました。今はアシラムのファミリーで出会った皆様のためにも祈らせていただいています。又、その方々が小さな私のためにも祈ってくださいていることを思うと、心強く思わされています。今まで知らなかった方達が一緒に祈り合う信仰、それにつながった兄弟姉妹があるということ、一人の人を大切に思い祈るということ。これらが世界に拡がり、戦争のない平和な世界がくることを心より願います。

(三島真光教会)



「日光オリーブの里アシラム」のご奉仕でありました。その間、お休みがなく、その後には、この度の「超大型台風19号」が待ち受けていたのです。そうした中で「集会」でしたが、先生をお迎えする側の私たちの中にも、思わぬ事態が発生し、主力メンバーの3人の方々が直前になって不参加

を余儀なくされなされたのです。そのような子6名の本当に小さな「集会」となったのです。然し、神様の御恵みは十分でした。御言葉通り「わが恩恵なごに足れり、わが能力は弱きうちに全うせらるればなり」(コリント後書12・9節)の御恵みに溢れた集会成为ったのです。静聴の御言葉は「マタイによる福音書」の16、17章

頼られていた閉会の祈りの中で、その成功を祈らずにはおられません。現役時代に、このようなコンベンション誘致の仕事の経験が、僅か3年でしたがありましたので、何か役に立てることがあるの

「第43回山陰アシラム」は、「蒜山バイブルキャンプ」において、10月7日、8日の二日間開催されました。今回の講師には、榎本先生が当たって下さいましたが、先生の前夜の日程は、とても過密で、札幌での国際正

義・平和アシラム終了後、空路米子に到着されたのは10月4日の夜遅くでした。翌5日、6日の二日間は、安来市と松江市において日基教団関係のご奉仕をなさり、7日、8日が今回の集会だったのです。ちなみに、この集いを終えられた夜には、再び空路で、

「第43回山陰アシラム」でありました。(江尾キリスト教会)

第43回山陰アシラムに参加して

稲田 敏朗

塩沢ふさ子
安仲 治朗
池谷 名氏
無名氏
米田 歌子
米田 康子
浮田 真理
無名氏
吉田すみえ
センター
聖書教室
堀大浜
キリスト教会
河村 琢郎
石井 美雪
67口
¥670,844

ヨセフ基金
(義援金)
米田 歌子
吉田すみえ
常任運営委員会
ちいば
アツちゃん・
シユラム君
ちいば教師
記念チャペル
夕礼拝
6口
¥15,800

会堂改築の
ために
鎌田 速明
1口

第16回
国際正義平和
アシラムの
ために
新中村 千重子
中村 和子
杉山 武文
杉山 ミユキ
松原 シオリ
脇 万里子
山城 睦子
山城 勝哉
6口
¥83,000

合計
80口
¥774,644

尊いご献金、
ご献品、お祈り、
お便り、電話
メッセージ、
そして、共に
アシラム！
感謝いたします

国際正義・平和アシラム

からの恵み

佐々木春代

2年前の札幌アシラムで、初めて私は国際正義アシラムの名を知りました。

頼られていた閉会の祈りの中で、その成功を祈らずにはおられません。現役時代に、このよ

榎本恵牧師が、

2019年秋に札幌での開催を予定しておられる事を知り、その概要も判らぬままに、依



は、との思いもありました。それから2年間は、榎本恵牧師の秘書的な役割をさせて頂きました。

当初予定の、全日空ホテルでの開催が難しくなつて、ガトーキングダムに決まるまで或いは、一般公開の北光教会での「平和のコンサート」開催の準備等々では、様々な事がありました。でも、最後には必ず良き方向へと導かれていました。

今はレビの時に、お一人お一人の顔を懐かしく思い出しながら祈る事が喜びです。

主は様々な試練を与えて、私達を鍛えてくださり、一層主の愛を解らせてくださる事

榎本牧師に「主のなさる事は素晴らしいですね！主が働いていてくださいますね！」と幾度メールしたことでしよう。

国際正義・平和アシラムでは、実行委員長吉田姉をはじめ、参加の一人一人が用いられて、まさに札幌アシラムへの恵みを実感しました。

与えられたファミリーのメンバーとの分かち合いも、恵みに満ちて感謝でした。



キャロル師による、平和のコンサート、早天祈禱会♪



台湾タロコ民族、教会青年達が、伝統の踊りを披露してくださった。北光教会やアイヌ資料館にて。



奉仕者とともに。前列右から、キャロルサク師、郭榮敏師、ジュラ柳原師、恵師、後列右から、筆者佐々木姉、ジュラマズミ夫人、森山兄、築山姉。

を、この国際正義・平和アシラムを通して確信する事が出来て、本当に感謝です。

(日基札幌北部教会)



早天祈禱会后、庭でひなたぼっこ

榎本保郎師召天后、40数年、アシラムセンターにとどまり続け、今も多くの恵みのうちに。

肩や足の痛みを抱えつつも、みことばに聴くこと、祈ることを日々大切にされています。皆様からのお祈りに感謝をこめて。

(康子記)

いかに幸いなことでしょ
うあなたに選ばれ近づけら
れあなたの庭に宿る人は。
恵みの溢れるあなたの家、
聖なる神殿によって
わたしたちが満ち足りませ
うように。

詩篇 65 : 5



11月阪神アシラム開会礼拝讃美の時、涙が、、、



10月30日誕生日に、溝井様ご夫妻(東京聖書教室の友)がご宿泊。共に早天、愛餐の恵み。

和子母 94歳の誕生日に

証 (1982.10.17 受洗時)

角野 敏子 (2019.9.24 御召天)

大阪聖書教室に毎月ご出席。準備、会計ご奉仕。
晩年は知華子姉(お嫁様)運転で。
入院先からもご参加され、一同、心打たれた。

この大浜教会の記念すべき日に受洗式にあずかり主に感謝いたします。私の神様との出会いは唄野さんとの出会いに始まります。以前この近くに住んでおりましたので、上の子供が小学校の六年生の時、子供会で集金に廻っていました。集金に来られると誰でも余りいい顔は出来ませんが、まして小学生だから、夕方や忙しい時等叱られる家もある中で、「ごくろうさんですわ」とやさしく笑顔で声をかけて下さり、子供心にも大変よろこんで帰り話しておりました。この方が唄野さんであり教会の方である事も知り集会に出席するようになりました。証や説教を聞き感激し、時には涙を流して心を洗われる思いに惹かれ、よくランチョンや集会には出席しました。

その後、勤めるようになり仕事の都合上、日曜礼拝には殆ど出席したことはありませんでした。私の仕事は、この10月10日で入社12年目を迎えましたが、花嫁の貸衣裳店で、特に日曜、祭日に出勤出来る事が入社時の条件です。結婚シーズンになりますと、月4回の休日も返上し、残業の続く日も少なくありませんでした。それでも通勤時間3分、割にきれいな仕事とあって主婦にとってはかなりハードな勤務時間も苦にならない程、私は仕事に熱中し、充実した毎日で生き甲斐さえ覚えていました。

そして、一昨年春、下の娘も高校を卒業し家事も手伝ってくれ、家で自分の時間もできるようになりました。私は仕事一途な生活から何か楽しみながら習い事を始めようと思い、まわりの人をまねて習字、編物、水墨画と珍しがりの私はパンフレットだけは色々集めて選んでいました。でも不器用で消極的な私は仲々腰を

あげませんでした。

当時、娘は浪人中で高校時代と違い家での時間も多くなり、浪人という不安とあせりのせいか、傲慢で我儘が目につくようになりました。その一つ一つが私にそっくりな事に気付き、私を愕然とさせました。私の心の中まで鏡に写し出されたようで恥ずかしく、子供に注意する勇氣もなかったのです。主は、世の事に生き甲斐を持ち傲慢な私の姿を私自身に示されたようです。それまで学校の成績さえよければすべてよしとしてきた自分を深く反省しました。その時、集会しか出なかった教会へ、神様は習い事よりも導いて下さいました。そして私の為に備えられたような(説明は省きます)檜崎さんのコインニアに加えていただきました。毎週金曜日の夜、集わせていただき、聖書を通して日曜礼拝の大切さを知りました。まもなく加太アシラムに導かれ、祈りを学び、半信半疑の内に「日曜礼拝」を祈りの課題にして帰りました。まず日曜礼拝のため、パートになろうと思いましたが、同じ仕事を続けて10年の年月は思った以上に重く仕事の面でも抜けるのに難しく、また給料、ボーナスへの未練も時々頭をよぎり、私自身祈りながら踏み切れないまま10月に入りました。(つづく)



背後に唄野政一長老の書。2018年、年頭アシラム。
(後列) 吉川師、知華子姉、角野姉、吉川姉(唄野師妹)、
(前列) 絢子姉、唄野隆師、和子母

あとがき

今年度も、11月の第43回阪神アシラムをもつて、この年のすべてのセントーのプログラムを感謝することが出来た。神に感謝するとともに、お支えくださったアシラムの友にお礼申しあげる。しかしながらこの一年の間に、多くのアシラムの先達たちを天に送ることになったのは、悲しいことである。また、各地アシラムの中で、その業を終えるという知らせを受けることはまことに寂しいことである。時代の流れの中で、仕方がないこともあるだろうが、かし私たちの神は生きておられる。呉アライアンス教会で長年ご奉仕された小宮山林也牧師が、天に帰られた。先生が教会を去った後、呉アシラムは、どうなることかと思っていたが、今も続けられていく。来年2月1日に記念すべき「第50回アシラム」が行われ、どうか、多くの方々が参加されることを期待している。(恵)

12月の聖書教室など		【主な問い合わせ先】 0748-33-4030 アシュラムセンター
6(金)	阪神ミニアシュラム (主恩教会 PM1:00)	
7(土)	広野祈りの家 (兵庫県三木市志染町 猪瀬姉宅 PM1:00) 猪瀬和子姉	0794-85-1147
9(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30) 樋口栄子姉	092-607-8251
14(土)	クリスマス合同聖書教室・愛餐会 (カフェちいろばのシェフによる手料理あり)	
17(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30)	
18(水)	カフェちいろば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30)	075-643-2476 みんなのカフェちいろば
23(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 PM2:00)	
24(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)	

12月のアシュラムなど	
4(火)	<p>第9回 平和合同祈禱会 (神戸イエス団教会 PM5:30) TEL 078-221-3627 奉仕者 森康彦師</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>昨年はアシュラムセンターにて中村吉基師がご奉仕下さいました。</p> </div> </div> <p>☆この祈禱会は、1941年太平洋戦争勃発前夜にスタンレージョーンズ師(アシュラム創始者)と、賀川豊彦師(神戸イエス団)が、太平洋の両岸で平和を願い、徹夜祈禱されたことを記念し、行っています。(会場は2年ごとに交替)</p> <div style="display: flex;">   </div>
14(土)	<p>クリスマス合同聖書教室 礼拝 ちいろば牧師記念チャペル AM11:00 愛さん会 アンナ祈りの家 昼12:30 (みんなのカフェ ちいろばシェフの 手料理!)</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>皆で賛美 ☆ミニバザー 被災されたアシュラムの友のため(ヨセフ基金) ご献品、受付中!</p> </div> </div> <p>笑しくおいしい カッパペタル</p>

1月のアシュラム予定	
23(木) 25(土)	<p>第45回 年頭アシュラム(関西セミナーハウス) 奉仕者 遠藤誠一師、榎本恵師 0748-33-4030 待望祈禱者、アシュラム参加者、 お待ちしております!!</p>

2020年2月以降のアシュラム予定	
2月1~2日	第50回記念 呉アシュラム
2月17~19日	第17回 国際正義平和アシュラムin台湾

みことば



元アシュラムセンター代表・常任運営委員長
元日本キリスト教団甲西伝道所牧師
後宮 俊夫 師(2018.12.23召天 96歳)

主のいつくしみは絶えることがなく、そのあわれみは尽きることがない。
これは朝ごとに新しく、あなたの真実は大い。

哀歌 3・22、23

わたしたちの信仰生活に於て、一日の最初の時に、主にまみえ、御言葉を聞き、上よりの力を与えられることは最も大切なことであります。一日の始めの朝に勝利を得なければその一日は敗北の日となってしまいます。わたしたちは朝に主のみ前にぬかずくことから始めなければなりません。この時に恵は最も多くあります。毎日、几帳面に祈ること、それには最も守り易い時間を選ぶのがよいように思われますが、自分の都合のよい時間は、自分の都合によって簡単にええられる時間でもあって、几帳面に守りません。無理であっても、朝の時間を祈りのために取ります。旧約時代には初子が主のものとして主に捧げられましたが、わたしたちは今、主から許される一日の最初の時を主に献げなくてはなりません。勿論、そのためにはその前夜からの準備が必要でしょう。テレビの深夜映画まで鑑賞しておいて、朝早く起きて主の前に祈ることなどはできない相談であります。夜にはちゃんと翌朝の準備をしておいて早く寝る位の心構えは必要であります。このようにして献げられた朝の一刻こそ、真にその一日を支えるものとなります。

東京神学大学の北森嘉蔵先生が言われたことだと記憶しますが、人間が朝目覚めて最初に思うことが、その人の本音だそうであります。日曜礼拝が十時や十時半頃にされるのは、朝目が覚めてから、ねじを巻いて、その頃になるとやっと心が神に向かうからだろうと皮肉を言っておられましたが、その一日の始めにおいて、心が神に向けられるならば、なんとすばらしいことではありませんか。その日のことの何も未だ記入されていない白紙である一日の最初の時に主の前に祈りを献げて、み言を最初に印することこそ、信仰生活の奥義であります。

色々試みてもう一つうまく行かなくて困っている兄弟たちよ、思い切って朝の最初の時を主に献げることを始めなさい。もう一つ信仰の確信が持てないでいる兄弟たちよ、朝の最初の時に主の前に静まることを始めなさい。主は豊かに祝福して下さいます。主は今も生きて、取るにも足りないわたしたちを顧みて下さることが分かります。寒い、眠い等々いろいろ障害はあります。思い切って朝に主の前に立って、主の恵に満たされましょう。

1963年出版「ガリラヤ」(日本キリスト教団世光教会「祈りの集い」の機関紙)より